

所属・氏名（保健医療学部 救急救命学科 氏名：坂口 英児）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (症例報告) 病院搬送時間に1時間以上を 要する地域で30分以上心肺 停止であった傷病者が社会復 帰した事例	共著	2015年6月	第18回日本臨床救 急医学会抄録集	山間部地域で30分以上心肺停止であった傷病 者の社会復帰事例での、ドクターカーの有効性 を報告したもの。 (抄録集364頁)
2 (学術論文) 救急自動車の車体規格につ いての検討	共著	2017年5月	第33回日本救急医 学会中国・四国地方 会抄録集	救急車自体の大きさや走行性、患者室、車内 での救急処置の可否について検討し、課題抽出 を行っているもの。 (抄録集106頁)
3 (学術論文) ストレッチャー曳航中の事故 対策についての検討	共著	2018年8月	プレホスピタルケア	論文全体の概要:ストレッチャーの高さに着目 し、傷病者搬送時の事故対策についての検討し たもの。 (総ページ数:4頁) (該当論文の著者名:安田康晴、二宮伸治、山 本弘二、岸誠司、諫山憲司、友安陽子、坂口英 児) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
4 (学術論文) 救急車サイレン音は自動車運 転者に聞こえているか? ー自動車運転時の車内騒音 量とサイレン音量との比較ー	共著	2019年1月	日本臨床救急医学 会雑誌	論文全体の概要:自動車運転者に救急車サイ レン音が聞こえているかについて検討したもの。 (総ページ数:4頁) (該当論文の著者名:安田康晴、山本弘二、岸 誠司、友安陽子、坂口英児、藤原ウェイン翔) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
5 (学会発表) 外傷傷病者に対する頭部保 持方法の検討	共著	2019年5月	第35回の本救急医 学会中国四国地方 会抄録集	安定した頭部保持ができる方法の検討を行っ ているもの。 (総ページ数:1頁) (著書全体の著者名加藤駿太、友安陽子、坂口 英児、吉川孝次、山本弘二、安田康晴) 担当部分の概要: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能 (抄録集32頁)
6 外傷傷病者に対する修正下 顎挙上法の検討	共著	2019年5月	第35回の本救急医 学会中国四国地方 会抄録集	確実な下顎挙上法について検討を行っているも の。 (総ページ数:1頁) (著書全体の著者名田中亮丞、友安陽子、坂口 英児、吉川孝次、山本弘二、安田康晴) 担当部分の概要: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能 (抄録集33頁)
7 救急自動車患者室中型化の 必要性についての検討	共著	2019年5月	第35回の本救急医 学会中国四国地方 会抄録集	救急車自体の大きさや走行性、患者室、車内 での救急処置の可否について検討し、課題抽出 と結果考察を行っているもの。 (総ページ数:1頁) (著書全体の著者名坂口英児、安田康晴、山本 弘二、友安陽子) 担当部分の概要: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能 (抄録集25頁)